

海上の森自然観察会

テーマ 早春の花を楽しもう

日時 2014年3月15日(土)10:00～14:30(晴)

参加者 一般:4名(子ども0) 指導員:10名

テーマが早春の花ということで、ダンコウバイを見に物見山に登ることとしましたが、その前にスマレサイシンの花を見ることとしました。太平洋側にはナガバノスマレサイシンが分布し、日本海側に分布するスマレサイシンが海上の森にあるのは珍しいので、自生地は柵で囲まれ保護されています。その後一旦、四ツ沢まで戻って、物見山方面に向かいました。水たまりに産まれたヒキガエルの卵塊や、道端で咲き始めたショウジョウバカマ、キブシの花などを見ながら林道を行きました。その途中、木の枝に産み付けられたムネアカハラビロカマキリの卵囊が見つかりました。最近増えている外来種で、卵囊の形状がハラビロカマキリとは異なり、色も紫色を帯びています。昨年11月30日の協議会交流の日に昭和の森で初めて成虫を教えてもらいましたが、ここ海上の森にまでも進出していることに驚きました。



物見山の展望台で昼食でしたが、風が強く体が冷えたので早々に下りました。展望台登り口のダンコウバイは間もなく開花するという状態でしたが、林道を下りてくると咲き始めたものや既に満開の立派な株もありました。大正池の近くではダンコウバイと似たクロモジの花も咲いていました。

日差しは暖かでテングチョウがよく飛んでおり、とヒオドシチョウやルリタテハの姿も見られました。いずれも成虫で越冬する蝶で、気温が上がって動き出すので早春から見られるものです。

海上の里のサテライト近くの電柱に巻かれたプラスチック板を叩くと隙間で冬越ししていたたくさんのテントウムシやアシナガバチの仲間が落ちてきて、その数の多さにびっくりしました。



(電柱の隙間で越冬していたナミテントウ)

いろいろなものを楽しめた観察会でしたが、反省すべきことがありました。スマレサイシンを最後まで見ていた参加者の一人がコースを間違えて篠田池方面に行ってしまう、一時観察会の集団から離れるということが生じました。幸い、事故もなく途中で合流できましたが、写真を撮っていて集団から遅れることが時々起りますので、いつもと違うコースを採るときは十分説明するか、最後の人が来るまで待つかなければいけないことを実感しました。(齋竹善行)

【その他見られたもの】

鳥:ホオジロ、ウグイス(囀り)、ヒヨドリ、メジロ、エナガ、ヤマガラ、コゲラ、アオジ、シジュウカラ、ハシブトガラス、コジュケイ(声)

植物:(花)アセビ、ヤマウグイスカグラ、タチツボスミレ、フキ(フキノトウ)、ヤブツバキ、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、マンサク、イヌコリヤナギ、(実)ヤブコウジ